

発行者	森 天 田 康 昭
編集者	泉 秀 明
発行所	連合熊本地域協議会 熊本地区労働者福祉協議会
〒862-0976	熊本市中央区九品寺1丁目17-9
TEL 096-375-3015	FAX 096-375-3016

連合熊本地協情報

一隅を照らす灯りとして

《労福協の基本理念》すべての働く人の幸せと豊かさを求めて、
連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります

熊本地区労福協が、第49回定期総会を開催!

6月28日(金)18:30～ 於:熊本市労働者福祉会館 =熊本地区労働者福祉協議会=

熊本地区労働者福祉協議会(会長:天野寿久)は、去る6月28日に第49回定期総会を開催しました。

開会挨拶を平岡副会長が担当し、議長選出まで行いました。総会議長に奥村代議員(JP労組)を選出し、以降の進行をお願いしました。

来賓には、連合熊本地域協議会より森田議長、こくみん共済coop熊本推進本部事業推進部藤元部長、九州労働金庫熊本県本部業務推進課上野課長、ユニオントラベル熊本岩佐事務局長が出席されました。また、連合熊本推薦議員団より鎌田県議、西県議、村上市議、山内市議、島津市議、吉村市議が出席、代表して森田議長、藤元部長より挨拶を頂きました。

その後、泉事務局長から2023年活動報告及び2024年活動方針案<熊本地区労福協は、連合熊本地協・各事業団体としっかりと連携を図り地域に顔の見える運動を展開し、「福祉はひとつ」の原点に立ち返り労働者自主福祉運動の構築を目指し活動して行く>が承認されました。

新旧役員挨拶では、森下幹事が退任挨拶、新任の前田幹事が挨拶し、最後に閉会の挨拶を白神副会長が行い総会を終了しました。

熊本地区労働者福祉協議会第49回



挨拶する天野会長



森田議長



藤元部長



平岡副会長



奥村総会議長



上野課長



岩佐事務局長



泉事務局長



森下幹事退任挨拶



来賓の皆様



前田新任幹事挨拶



白神副会長

◆本号では、標題の背景色にウクライナの国旗(上部又は右青・下部又は左黄色)の色を使用しています。

▼随時掲載
本質が見抜けぬままの
都知事選
生活直結
良識願う

8月の出来事など: 6日広島平和記念日: 1945(昭和20)年8月6日午前8時15分、米軍のB29爆撃機「エノラ・ゲイ」が、広島市上空で世界初の原子爆弾「リトルボーイ」を投下した。熱戦と衝撃波によって市街は壊滅し、約14万人の死者を出した。その後、原爆症等で亡くなった人を含めると、犠牲者は25万人以上に登る。広島市で原爆慰霊祭で世界平和を祈念するアピールが宣言、燈籠流しが行われる→P2

がんばった！中小地場労組！！

◆全国の「賃上げの流れ」は、熊本でも交渉に反映！来春季生活闘争でも、今回以上の取組みに努めましょう。



2024春季生活闘争

=7月10日第4回集計結果【最終】=(詳細は下記参照)

- ◆全国：粘り強い交渉で33年ぶり最終集計まで5%台維持！300人未満中小組合4.45%！
- ◆熊本県：先月公表(6/6)第3回集計と同率の4.53%！中小300人未満4.54%で全体集計を0.01%上回る。何れも粘り強い交渉で、1万円を超える賃上げ獲得！
- ◆熊本県：賃上げが明確に分かる組合でも4%台を獲得！
64組合/86組合12,741円4.53%(昨年同時期比+1,848円 0.62ポイント増)

連合熊本「2024春季生活闘争」 第4回賃上げ回答集計結果/7月10日プレスリリース概要

【概要】

- 全国は、粘り強い交渉で33年ぶりに最終集計まで5%台を維持！
300人未満の中小組合は、4.45%を獲得！

全国では、平均賃金方式で回答を引き出した5,284組合の加重平均は15,281円 5.10%(昨年同時期比4,721円増 1.52ポイント増)、うち組合員300人未満の中小組合3,816組合の加重平均は11,358円 4.45%(同3,337円増 1.22ポイント増)となった。最終集計まで5%超えを維持したのは33年ぶりとなった。各労組がしっかりと交渉した結果が表れている。

- 熊本県の全体では、先月公表(6/6)した第3回集計と同率の4.53%を記録！
中小組合 300人未満では、4.54%を獲得し全体集計を0.01%上回る結果となった。
いずれも粘り強い交渉で一万円を超える賃上げを獲得！

熊本県(回答済み86組合)では12,501円 4.53%(昨年同時期比+1,925円 0.73ポイント増)、300人未満は10,894円 4.54%(昨年同時期比+3,412円 1.42ポイント増)と賃上げ額が昨年同時期比で1.5倍の状況となった。300人以上は13,004円 4.53%(昨年同時期比+1,311円 0.48ポイント増)となった。全体も中小組合も、粘り強い交渉で昨年を超える賃上げを記録し32年ぶりに4%台の結果となった。

【回答組合数の内訳】2024年7月10日 最終集計

業種	製造業	商業流通	交通運輸	サービス その他	情報出版	金融保険	公務	その他	計
■ 全体	57	6	13	1	0	0	0	9	86
内訳:300人未満	42	3	10	1	0	0	0	5	61

- 熊本県の賃上げ分が明確に分かる組合でも4%台を獲得！
64組合/86組合 12,741円 4.53%(昨年同時期比+1,848円増 0.62ポイント増)

賃上げ分が明確に分かる組合のうち県内の回答済み64組合は、各業種とも粘り強い交渉の結果、全てがベースアップ(賃金改善)を獲得した。特に「製造業(自動車・船舶など)」、「商業流通」がけん引した。また、2024年問題で働き方改革を行っている「交通運輸」部門でも多くの組合でベースアップを獲得し、妥協組合の77.0%が前年度実績に対して増額もしくは同額を獲得した。各業種とも賃金面だけでなく、労働条件面の改善についても多くの労組で協議がされた。

- 全国の「賃上げの流れ」を熊本県でも交渉に反映された！

中小地場組合の交渉においても全国の「賃上げの流れ」が波及し、労働者の生活安定に向け「人への投資」が重要視され、賃上げや労働環境の整備などの交渉に大きな影響を与えたと感じている。連合熊本は、来期の春季生活闘争へ向け、更に賃上げの機運を高められるよう構成組織とともに取り組んでいく。

平均賃金方式	組合員数による加重平均				2023回答(2023年7月7日公表)			
	組合員数	組合員数	賃上げ分	賃上げ分	組合員数	組合員数	賃上げ分	賃上げ分
300人未満	86組合	28,663人	12,501円	4.53%	76組合	21,809人	10,576円	3.80%
	61組合	6,630人	10,894円	4.54%	52組合	5,784人	7,482円	3.12%
	25組合	22,033人	13,004円	4.53%	24組合	16,025人	11,693円	4.05%

※ 2024回答と2023回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

賃上げ分が明確に分かる組合の集計(熊本県)

平均賃金方式	2024回答(組合員数による加重平均)				【参考：前年同期】2023回答(組合員数による加重平均)			
	組合員数	組合員数	賃上げ分	賃上げ分	組合員数	組合員数	賃上げ分	賃上げ分
全体	64組合	21,785人	12,741円	4.53%	68組合	20,918人	10,893円	4.11%
	48組合	10,712人	10,712円	4.09%	45組合	7,941人	3,637円	4.30%
	16組合	11,073人	12,024円	4.45%	23組合	11,873人	4,273円	7.72%
300人未満	42組合	10,712人	10,712円	4.09%	45組合	7,941人	3,637円	4.30%
300人以上	22組合	11,063人	12,037円	4.46%	23組合	11,873人	4,273円	7.72%

※ 「賃上げ分」と「賃上げ率」のいずれかが未記入の組合もあるため、「計」は「賃上げ分+賃上げ率」と一致しません。

※ 2024回答と2023回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

前年・前々年最終集計

平均賃金方式	2023回答(組合員数による加重平均)				【参考：前年同期】2022回答(組合員数による加重平均)			
	組合員数	組合員数	賃上げ分	賃上げ分	組合員数	組合員数	賃上げ分	賃上げ分
全体	76組合	21,809人	10,576円	3.80%	72組合	17,556人	5,774円	4.18%
	52組合	7,482人	3,603円	3.88%	53組合	4,688人	3,766円	923円
	24組合	11,693人	11,693円	4.05%	19組合	6,566人	4,894円	1,594円
300人未満	52組合	7,482人	3,603円	3.88%	53組合	4,688人	3,766円	923円
300人以上	24組合	11,693人	11,693円	4.05%	19組合	6,566人	4,894円	1,594円

※ 「賃上げ分」と「賃上げ率」のいずれかが未記入の組合もあるため、「計」は「賃上げ分+賃上げ率」と一致しません。

※ 2023回答と2022回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

【参考資料】

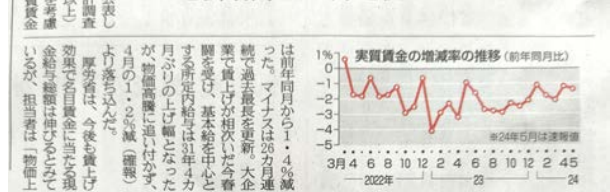
2024年最終集計の数値



=7月9日熊日記事=

実質賃金 5月1.4%減

過去最長 26カ月連続マイナス



厚労省が発表した5月の実質賃金増減率は、前年同月比でマイナス1.4%となった。これは過去最長の26カ月連続マイナスとなった。厚労省は、賃上げのペースが鈍化していることや、物価の上昇が賃上げを上回っていることが要因として挙げている。また、企業は賃上げを抑制しているという声も聞かれる。厚労省は、賃上げのペースを速くすることを呼びかけている。

県最賃 地域差の是正焦点

審議会 来月答申へ議論開始

熊本県労働基準審議会が、県内最賃の引き上げをめぐって、来月に答申を出す方針で議論を開始する。審議会は、県内最賃の引き上げをめぐって、来月に答申を出す方針で議論を開始する。審議会は、県内最賃の引き上げをめぐって、来月に答申を出す方針で議論を開始する。

来春闘へ向け、最賃の大幅アップが必須です！

来春闘へ向け、最賃の大幅アップが必須です！

「熊本でも、何か出来る事は無いのかな？」

6月7日（金）於「那覇文化芸術劇場なは一と」 と思いながら参加して来ました！

中央労福協（労働者福祉中央協議会）主催「全国研究集会」開催

「全国研究集会2024in OKINAWA」

＝「全国研究集会in OKINAWA—子どもたちの未来のために、地域の挑戦＝

●標記、中央労福協主催「全国研究集会2024in OKINAWA」が、沖縄那覇市で開催されました。

●熊本県労福協から、友田会長、浦本専務など総勢5名で参加、うち熊本地区労福協からは、泉事務局長が参加しました。

●全国研究集会の前日は、沖縄県労福協事業施設「グッジョブセンターおきなわ」の取り組みを視察しました。この「グッジョブセンターおきなわ」は、発足当初、数名で子どもの貧困対策に取り組む目的でスタートしています。具体的には、家族の生活基盤を安定させるための雇用問題や収入増につながる支援が必要であることや、さまざまな困難に寄り添い支援する活動に取り組んで来た経過などを聴きました。結果として現在に至っては、職員数は161名まで増員して活動しているとのことでした。

●研究集会は、「全国研究集会in OKINAWA—子どもたちの未来のために、地域の挑戦」と題して、第1部では沖縄県労福協仲宗根理事長と沖縄県玉城知事とのオープニングセッションがありました。

●第2部では各地域で自然環境、スポーツ、音楽、文化芸術、フードサービ

ス、子育て支援など様々なアプローチから地域の子どもたちと関わり「楽しさ」を追求しつつ、子どもたちの「居場所」づくりの役割を担っている団体の代表者4名によるトークセッションが行われました。それぞれの団体から、「子どもたちのために」活動されていることが報告されました。

●第3部では、音楽を通して子どもたちの居場所づくりを立ち上げ活動中の「ジュニアジャズオーケストラおきなわ」のミニコンサートが行われました。

プロ講師の指導のもと、練習を重ねた子どもたちの演奏には非常に心をうたれました。

●今回の研究集会を通して、沖縄県労福協の活動、地域の子どもたちの未来のために活動する4つの団体の取り組みを学び、「熊本で何かできることはないのか」と考えさせられました。

●今後、熊本地区労福協においても少しでも活発になるよう活動していこうと思います。



連合2024平和行動inオキナワ

6月23日～24日連合熊本平和行動
今年の平和行動、オキナワからはじまる！

●連合熊本地域協議会（議長：森田康昭）は、標記集会に構成組織の皆さんに参加して頂きました。

1日目：那覇文化芸術劇場なは一と「大劇場」

第1部 基調講演「再考・日米地位協定」講師：前泊博盛氏、第2部 平和式典 ①黙祷②主催者挨拶③地元挨拶④来賓挨拶紹介⑤ピースリレー⑥平和アピール

2日目：ピースフィールドワーク（基地コース）に参加し、戦跡等巡りの学習をしました。



新執行委員長に、徳富幸平氏！（連合熊本）

連合熊本ユニオン第23回定期大会開催
6月2日（日）AM 於：連合熊本会議室

◆連合熊本ユニオン（執行委員長：田中広幸）は、去る6月2日に第23回定期大会を開催しました。

◆連合熊本ユニオンは、2002年4月に発足し、一人でも入れる労働組合として労働相談をはじめ労働問題の解決のための活動をしています。大会では、活動報告と活動方針等を全会一致で確認して次期活動に向け団結を固めたこと

です。本冊P4に労働相談内容を一部報告してありますが、相談からユニオン加入となることも多くあります。現在、裁判1件、県労働委員会での係争事案1件に取り組んでいます。

◆なお、今大会で田中執行委員長の勇退にともない標記徳富新執行委員長が就任しました。今後とも、ご支援ご協力をお願いいたします。

